

令和7年度 第3回豊田市市民活動促進委員会 次第

日 時 令和7年12月26日（金）
午後6時30分から午後8時30分まで
場 所 とよた市民活動センター

1 開 会

2 前回の振り返り及び事務局説明（15分）

3 議題（100分）

【全体討議】

「核となる言葉（素案）」の提示と目線合わせ（30分）

【グループワーク】

「核となる言葉」を磨き上げる（20分）

【全体討議】

「核となる言葉（目指す姿）」の決定（20分）

【全体討議】

「重点プロジェクト（今後数年程度、力を入れること）」3つの集約と
合意形成（30分）

4 閉会・全体のまとめ（5分）

第10期(令和7～8年度)市民活動促進委員会名簿

区分	氏名	団体名等	分野
継続	谷口 功 たにぐち いさお	栃山女学園大学教授	学識経験者
継続	三島 知斗世 みしま ちとせ	NPO法人 ボランタリーネイバーズ	学識経験者
継続	伊東 浄江 いとう きよえ	NPO法人 トルシーダ	市民活動団体
継続	有我 都 うが みやこ	キッズプランナー	市民活動団体
継続	秋山 聖 あきやま せい	とよたMケアの会	市民活動団体
継続	鬼木 利瑛 おにき りえ	株式会社 eight	企業
継続	長谷川 和哉 はせがわ かずや	トヨタ紡織(株) 総務部 ウェルビーイング推進室 企 画G	企業
継続	都築 あきら つづき あきら	(社福) 豊田市社会福祉協議 会	中間支援
継続	戸田 友介 とだ ゆうすけ	(一社) おいでん・さんそん	中間支援
新規	鈴木 友喬 すずき ゆたか	任意団体あいす	市民活動団体
新規	鈴村 萌芽 すずむら もえみ	(株)musbun	企業
新規	岩田 雅子 いわた まさこ	(公財) 豊田市文化振興財団 交流館課	中間支援
新規	亀井 祥子 かめい さちこ	NPO法人こえもじ	公募 (市民活動団体)

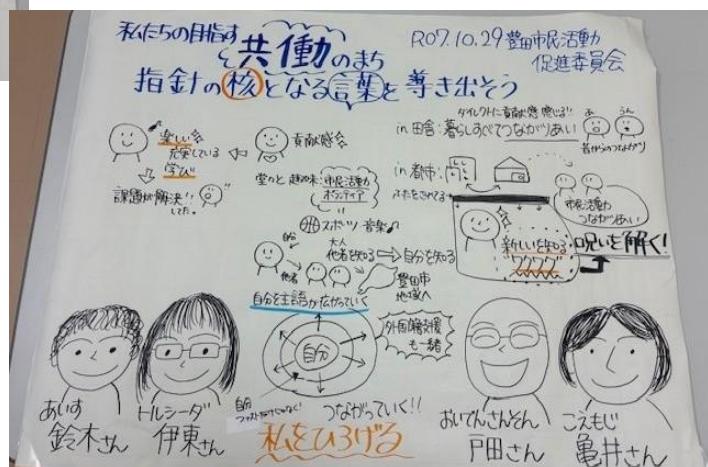
※敬称略

2 前回の振り返り及び事務局説明 (15分)

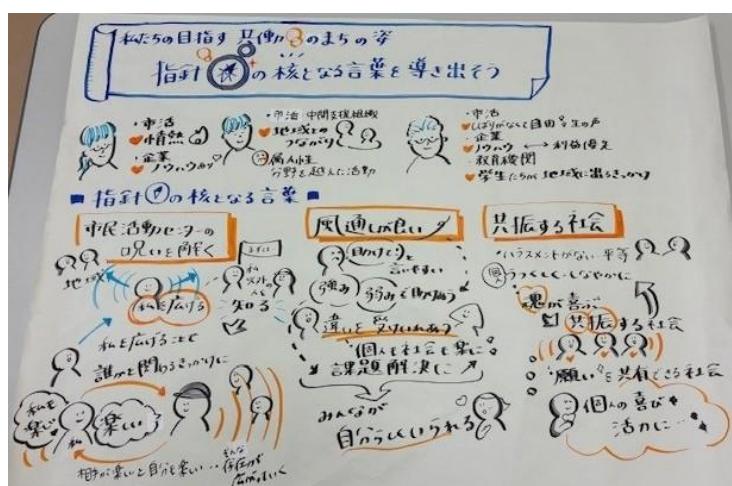
(1) 第2回議論のポイント

各グループの熱量の高い議論から生まれた幾つかの核心的なキーワードは、行政的な言葉ではなく、委員の皆様の実感から導き出されたことが大変大きかったです。

3グループに分かれて話し合った状況



全体討議の議論内容



(2) 令和8年度以降における委員会について

第2回委員会で説明させて頂きました条例改正については、豊田市市民活動促進条例における第8条の委員会の規定について、3月議会での改正を進めています。

・条例改正案

現行	改正後（令和8年4月1日以後）
(豊田市市民活動促進委員会) 第8条 市長の諮問に応じ、市民活動の促進に 関し必要な事項を調査審議するため、豊田市市民活動促進委員会（以下「委員会」という。） を置く。	(豊田市市民活動促進委員会) 第8条 市は、 市民活動団体等と共に市民活動の促進に 関し、事業の総合調整を図り、 市民活動の促進を支援するため 、豊田市市民活動促進委員会（以下「委員会」という。）を置く。
2 (略)	2 (略)
3 委員会は、次に掲げる者のうちから市長が 委嘱する委員20人以内をもって組織する。 (1) 公募による市民 (2) 市民活動団体の関係者 (3) 学識経験を有する者 (4) その他市長が適当と認める者	3 委員会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する委員20人以内をもって組織する。 (1) 公募による市民 (2) 市民活動団体の関係者 (3) 市民活動を支援する企業及び団体の関係者 (4) 学識経験を有する者 (5) 市 (6) その他市長が適当と認める者

上記の対応について、事務局内において議論を進めていく中で、以下の3案が浮上しました。これにつきまして、それぞれの強みと弱みを列挙しましたので、委員の皆様の立場からのご意見をお聞かせください。

・比較表

	案1 第8条改正・ 名称維持	案2 第8条改正・名称変更	案3 第8条削除
概要	委員会の役割を変更し、 構成員を拡充	1 案の改正内容に加え、 名称を変更	委員会設置規定を削除 し、任意の会議体へ移行
強み	安定的な運用 条例上の設置根拠が明確 であり、委員報酬や重点 プロジェクト予算確保が しやすい可能性がある。	実利と刷新のバランス 条例上の根拠は維持し、 名称変更を契機に対等なパー ^{トナ} ーであることを明確に 示せる。	強力な意思表示 行政設置の機関を廃止す ることで、「行政主導か らの脱却」と「市民の自 立」をアピールできる。
弱み	旧来体制の踏襲 行政主導の印象が拭え ず、対等なパートナーシ ップへの転換が伝わりに くい。	単なる「看板の掛け替え」 と批判されないように実際 の会議運営において、実質 的な対等性を担保する必要 がある。	制度の不安定化 法的根拠を失うことで、 事業予算の確保や委員へ の報酬支払いが困難にな る恐れがある。

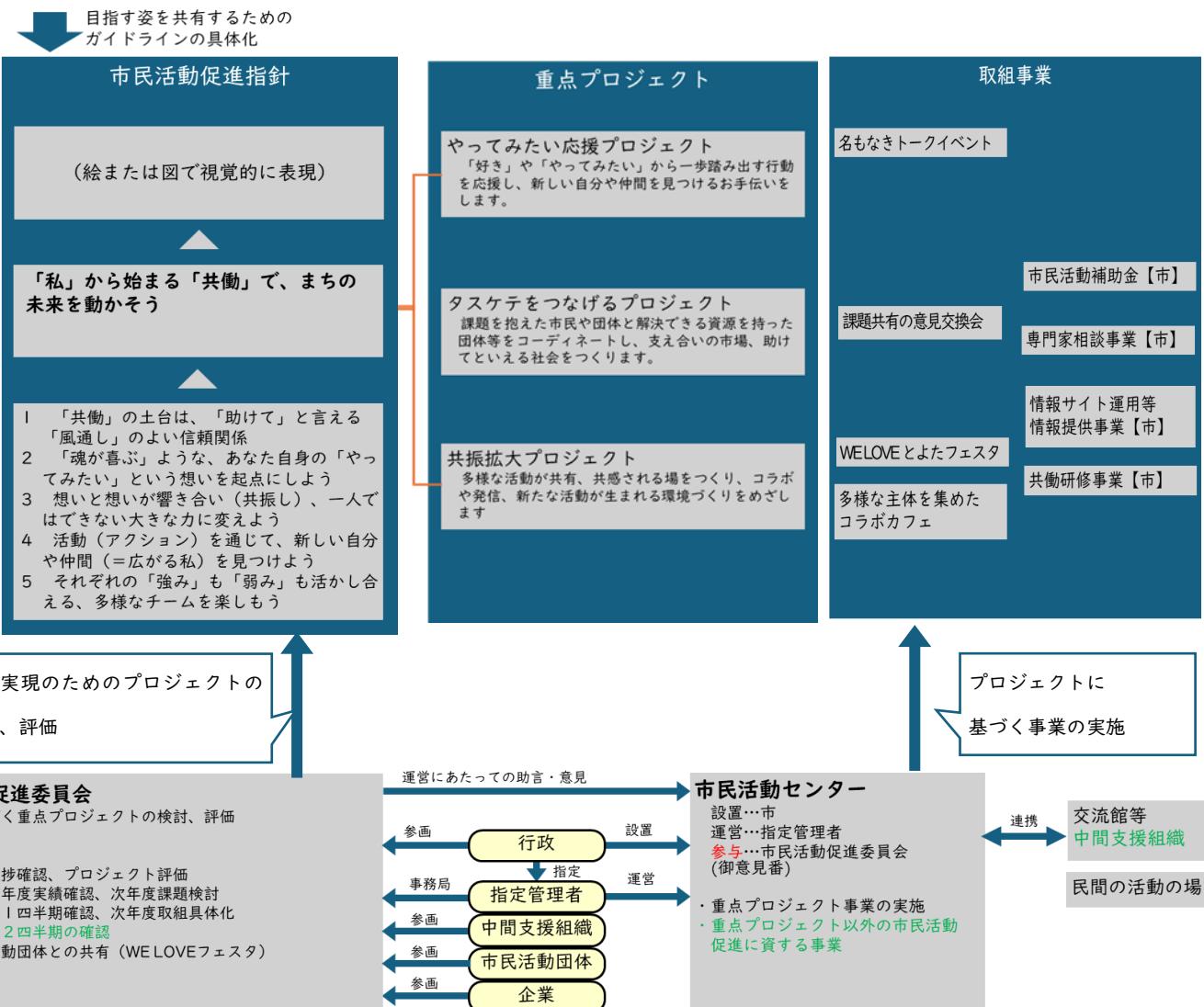
・案2における委員会名称案

パートナー重視	豊田市市民活動パートナーシップ委員会	行政と市民・団体が「上下」ではなく「横」の 関係（パートナー）であることを強調
共働重視	豊田市市民活動共働委員会	「促進」から「共働」へ変えることで関係性の 変化（対等性）を強調
役割志向	豊田市市民活動推進委員会	「事業立案・実行」の役割に焦点を当てて、実 行委員会のような動く組織のイメージを強調

・令和8年度以降の運用イメージ案

市民活動促進条例

理 念：市、市民、活動団体は、互いの立場を尊重し、対等な関係に立って、相互理解、情報共有に努める
市の責務：環境づくり、市民の役割：市民活動の理解、発展への寄与、団体の役割：社会的意義の認識、市民への理解促進



3 議題 (100分)

【全体討議】「核となる言葉【ビジョンを表すスローガン、バリュー（大切にする価値観）】」の提示と目線合わせ

事務局提示素案として、以下に4案を出させていただきます。

全体討議ではビジョンを表すスローガンを絞り込みます。

案1 「主人公」をテーマ

【ビジョンを表すスローガン】誰もが、何度も、主人公になれるまち。

【バリュー（大切にする価値観）】

- 1 「どうせ無理」の呪いを解き、自分の可能性を信じよう。
- 2 「やってみたい」を応援し、「助けて」を支え合おう。
- 3 「楽しい」や「うれしい」で響き合い（共振し）、仲間になろう。
- 4 失敗は、次の挑戦への「経験値」。
- 5 活動を通じて、昨日とは違う「私」に出会おう（私を広げよう）。

案2 「楽しい・ワクワク」を起点

【ビジョンを表すスローガン】「楽しい！」から、はじめよう。

【バリュー（大切にする価値観）】

- 1 自分の「ワクワク」や「魂が喜ぶ」心の動きを、信じてみよう。
- 2 その「楽しい！」という熱量が、仲間と出会う「共振」の始まり。
- 3 「いいね！」も「助けて！」も安心して言い合える、風通しのよい場を大切にしよう。
- 4 仲間と出会い、新しい自分の可能性（=広がる私）を発見しよう。
- 5 私たちの「楽しい」が、まちの「おもしろい」を創りだす。

案3 「違い・多様性」を起点

【ビジョンを表すスローガン】響き合う、それぞれの「ちがい」。

【バリュー（大切にする価値観）】

- 1 自分の「強み」も「弱み」も、大切な個性として認めよう。
- 2 「風通し」のよい対話で、お互いの「ちがい」を受け入れよう。
- 3 「ちがい」を「おもしろい」と楽しむ心が、仲間との「共振」を生む。
- 4 補い合うことで、一人ではできないことを成し遂げよう。
- 5 私の役割が、チームの中で、まちの中で、新しく「広がっていく」。

案4 「共働」をストレートに表現

【ビジョンを表すスローガン】「私」から始まる「共働」で、まちの未来を動かそう。

【バリュー（大切にする価値観）】

- 1 「共働」の土台は、「助けて」と言える「風通し」のよい信頼関係。
- 2 「魂が喜ぶ」ような、あなた自身の「やってみたい」という想いを起点にしよう。
- 3 想いと想いが響き合い（共振し）、一人ではできない大きな力に変えよう。
- 4 活動（アクション）を通じて、新しい自分や仲間（=広がる私）を見つけよう。
- 5 それぞれの「強み」も「弱み」も活かし合える、多様なチームを楽しもう。

考えて頂くに当たって…

この指針を誰に一番伝えたいか？

もちろん、活動団体を始めとして、企業等多様な主体の方に伝えたいです。そして、これから活動を始めるかもしれない市民の方にも響いて頂けるようなものであって欲しいです。

【グループワーク】「核となる言葉【ビジョンを表すスローガン、バリュー（大切にする価値観）】」を磨き上げる

目的 素案で絞られたスローガンの後に続くバリューについて、「自分たちの言葉」としてプラスシユアップし、違和感をなくす。

グループ内で議論していただく内容

「この言葉で、私たちが目指す「市民活動促進」に繋がる熱量は伝わるか？」

「この言葉をより良くするために、どの単語を足すべきか、引くべきか？」

【全体討議】「核となる言葉【ビジョンを表すスローガン、バリュー（大切にする価値観）】」の決定

グループからの意見（「この単語は入れたい」「この表現の方がしっくりくる」等）を集約し、委員会全体として合意できる「目指す姿（スローガンとバリュー）」のフレーズを決定する。

【全体討議】「重点プロジェクト（今後数年程度、力を入れること）」を導き出す

目的 決定した「目指す姿（スローガンとバリュー）」を実現するための具体的な「重点プロジェクト」を3つ導く。

議論していただく内容

「『目指す姿』を実現するために今後3年間で特に力を入れるべきことは何か？」

「『個人』『組織』『社会』の状態を良くするために、それぞれどんなテーマが必要か？」

委員会全体で合意できる「3つの重点プロジェクト」を絞り込む。

例えば、以下のようなことが挙げられます。

- 1 個人の「やってみたい！」を全力で応援する
- 2 出会いと交流の場をたくさんつくる
- 3 生まれた「共働」の輪を、まち全体に広げる

“個人”的な状態を描く姿

- ・誰もが主役となり得る
- ・主体的な当事者意識
- ・失敗を恐れずチャレンジ
- ・社会や地域に関心を持ち、参加している

“組織”的な状態を描く姿

- ・互いに認め合い、尊重し、交流、連携をしている。
- ・お互いが対等のパートナーであることを理解している。
- ・活動が継続的に行えるような手立てを考えている。

“社会”的な状態を描く姿

- ・多様な主体による多様なサービスが提供されることでまちの幅や厚み、深みが増している。
- ・共通する目的に対して、それぞれの判断に基づいてそれぞれに活動している。
- ・将来世代にわたって、豊かな地域社会を継承していく持続可能性を追求する。

メモ欄